



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場会社名 塩野義製薬株式会社  
コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功  
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 高木 浩樹

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	62,737	△6.7	8,049	△33.6	13,634	8.4	10,322	△4.6
26年3月期第1四半期	67,265	△0.8	12,119	—	12,582	—	10,821	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 8,992百万円 (△51.0%) 26年3月期第1四半期 18,345百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	30.82	30.81
26年3月期第1四半期	32.31	32.30

(注) 当社は平成27年3月期第1四半期より研究開発費に関する会計方針の変更を行っております。このため平成26年3月期第1四半期連結累計期間については遡及修正後の数値を記載しておりますが、対前年同四半期増減率については算定していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	554,965	466,775	83.4
26年3月期	580,566	467,836	79.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 462,945百万円 26年3月期 463,865百万円

(注) 当社は平成27年3月期第1四半期より研究開発費に関する会計方針の変更を行っております。このため平成26年3月期については遡及修正後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	22.00	—	24.00	46.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	130,000	△6.3	18,500	△33.8	24,000	△12.1	16,000	△24.1	47.78
通期	269,000	△7.2	45,000	△27.3	50,000	△19.6	33,000	△18.8	98.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年3月期第1四半期より研究開発費に関する会計方針の変更を行っております。このため平成27年3月期の営業利益、経常利益、当期純利益の対前年同四半期増減率及び対前期増減率については遡及修正後の平成26年3月期の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	351,136,165 株	26年3月期	351,136,165 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	16,228,895 株	26年3月期	16,242,701 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	334,907,650 株	26年3月期1Q	334,898,854 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高627億37百万円、営業利益80億49百万円、経常利益136億34百万円、四半期純利益103億22百万円となりました。

売上高につきましては、国内医療用医薬品市場において、本年4月には薬価改定が実施され、価格面で非常に厳しい状況となる中、「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」の最重要戦略品目が全体の売上高に貢献しておりますが、一方で既存品が引き続き苦戦を強いられており、また先述の薬価改定の影響を受け、国内医療用医薬品全体では、前年同期比4.3%の減となりました。海外におきましては、米国子会社のシオノギINC.では、閉経後膣萎縮症治療薬「Ospheña」が堅調に推移しておりますが、前連結会計年度に実施した品目売却の影響もあり、前年同期比では海外売上高全体で19.6%の減少となりました。また、昨年契約変更を実施したクレストールのロイヤリティは、前年同期比10.1%の減となりました。これらの結果、売上高全体では前年同期比6.7%の減収となりました。

利益面では、先述の薬価改定の影響を受け、売上総利益が前年同期比12.3%の減少、販売費及び一般管理費につきましては、国内外での販売関連費用及び開発費用の効率的な使用に取り組み、前年同期比5.3%の減少となりましたが、営業利益につきましては前年同期比33.6%の減益となりました。経常利益につきましては、ViiV社からの受取配当金が増加しており、前年同期比8.4%の増益となりました。四半期純利益につきましては、前年同期にシオノギINC.の株式評価損の損金算入額の変更により税金費用の減少があったため、4.6%の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は5,549億65百万円で、前連結会計年度末と比べて256億円減少しました。流動資産は、主として短期運用の有価証券の減少により、前連結会計年度末より200億86百万円少ない2,288億6百万円となりました。固定資産は、主として無形固定資産や退職給付に係る資産が減少したことにより、前連結会計年度末より55億14百万円少ない3,261億58百万円となりました。

負債合計は881億90百万円で、前連結会計年度末と比べて245億39百万円減少しました。流動負債は、主に社債を償還したことにより減少し、前連結会計年度末より250億13百万円少ない539億94百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末より4億74百万円多い341億95百万円となりました。

純資産合計は4,667億75百万円で、前連結会計年度末と比べて10億60百万円減少しました。株主資本は、四半期純利益の計上及び配当金の支払などの結果、前連結会計年度末より2億87百万円多い4,515億64百万円となりました。その他の包括利益累計額は、主として株式市況の変動によるその他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末より12億7百万円少ない113億80百万円となりました。また、新株予約権は前連結会計年度末より18百万円減少し1億89百万円、少数株主持分は前連結会計年度末より1億22百万円減少し36億40百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、平成26年5月9日発表の業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が648百万円増加し、投資その他の資産その他（退職給付に係る資産）が2,478百万円、利益剰余金が2,014百万円それぞれ減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ40百万円増加しております。

(研究開発費の会計処理方法の変更)

従来、当社グループでは、研究開発費のうち、外部に委託する研究開発費については、主に成果物を入手した時点で費用認識する方法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より主として研究開発活動の進捗に応じて費用認識する方法に変更しております。

当社グループでは、これまでは国内の患者さま向けの医薬品を中心とした研究開発を行っておりましたが、新薬開発・販売のグローバル化に伴い、社内経営資源中心から、次第に外部委託による研究開発活動の比重が高くなっており、今後もその傾向はますます高まることが見込まれております。

また、開発領域につきましても、これまでの比較的開発期間の短い感染症領域を中心とした開発品目から、循環器・疼痛領域のような、開発期間が長期間にわたる品目へとシフトしてきております。

このような状況の下、外部委託研究費は、以前に比べ研究開発費全体に占める割合が高まり、また長期化していることから、従来の最終的な成果物の入手時点を費用認識時期とする方法では、費用認識時期と研究開発活動の進捗との乖離が顕著になってきたため、研究開発活動の進捗に応じて費用認識をする方が、より実態を表すものと判断いたしました。また、上記を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より海外子会社と共通の外部委託研究開発の進捗管理システムが稼働しており、研究開発活動の進捗に応じた費用測定の体制も整ったことを機に、当第1四半期連結会計期間より計上方法を変更いたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費（研究開発費）は40百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ40百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、遡及適用後の利益剰余金の前期首残高は3,363百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,238	35,037
受取手形及び売掛金	64,290	65,408
有価証券	80,100	52,300
商品及び製品	24,005	24,898
仕掛品	11,425	11,855
原材料及び貯蔵品	12,938	12,979
その他	21,917	26,350
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	248,893	228,806
固定資産		
有形固定資産	78,976	79,348
無形固定資産		
のれん	42,878	41,445
その他	29,945	28,557
無形固定資産合計	72,824	70,003
投資その他の資産		
投資有価証券	149,519	149,111
その他	30,442	27,786
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	179,871	176,807
固定資産合計	331,673	326,158
資産合計	580,566	554,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,627	12,405
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	12,392	4,247
賞与引当金	7,071	9,346
返品調整引当金	4,320	3,610
その他の引当金	21	—
その他	25,575	24,384
流動負債合計	79,008	53,994
固定負債		
長期借入金	10,034	10,033
退職給付に係る負債	9,967	10,775
その他	13,719	13,386
固定負債合計	33,721	34,195
負債合計	112,730	88,190

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	429,526	429,797
自己株式	△19,756	△19,739
株主資本合計	451,277	451,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,289	24,381
為替換算調整勘定	△6,113	△6,731
退職給付に係る調整累計額	△6,588	△6,269
その他の包括利益累計額合計	12,587	11,380
新株予約権	207	189
少数株主持分	3,762	3,640
純資産合計	467,836	466,775
負債純資産合計	580,566	554,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	67,265	62,737
売上原価	18,355	19,836
売上総利益	48,910	42,901
販売費及び一般管理費	36,791	34,851
営業利益	12,119	8,049
営業外収益		
受取利息	29	52
受取配当金	965	6,898
為替差益	412	—
その他	65	60
営業外収益合計	1,472	7,011
営業外費用		
支払利息	227	95
寄付金	293	123
為替差損	—	532
その他	488	674
営業外費用合計	1,010	1,427
経常利益	12,582	13,634
特別利益		
投資有価証券売却益	554	—
特別利益合計	554	—
税金等調整前四半期純利益	13,137	13,634
法人税、住民税及び事業税	1,284	4,239
法人税等調整額	1,026	△973
法人税等合計	2,310	3,265
少数株主損益調整前四半期純利益	10,826	10,368
少数株主利益	4	45
四半期純利益	10,821	10,322



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,826	10,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	548	△908
繰延ヘッジ損益	306	—
為替換算調整勘定	6,663	△786
退職給付に係る調整額	—	319
その他の包括利益合計	7,518	△1,375
四半期包括利益	18,345	8,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,039	9,115
少数株主に係る四半期包括利益	305	△122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

平成27年3月期 第1四半期業績 補足資料

平成26年8月1日  
塩野義製薬株式会社

① 主要製商品売上高

(単位:億円)

	26年上期 予測	26年度 予測	26年4-6月 実績	25年4-6月 実績	対前年 増減額	対上期予測 進捗率
国内医療用医薬品	805 (△0.5)	1,670 (△0.8)	387 (△4.3)	404 (1.9)	△17	48.1
クレストール	210	425	108	100	8	51.6
イルベタン類	73	159	37	29	8	51.2
サインバルタ	62	136	25	26	△1	41.0
戦略3品目合計	345	720	171	155	16	49.6
オキシコンチン類	55	107	27	27	△0	49.0
フィニバックス	23	46	9	11	△2	37.9
ディフェリン	21	46	9	9	△0	42.0
ピレスパ	27	56	13	12	1	46.7
ラピアクタ	2	25	1	1	△0	26.1
戦略8品目合計	473	1,000	229	216	13	48.4
フロモックス	62	130	31	39	△8	50.6
リンデロン等外用	45	84	21	24	△3	46.0
クラリチン	17	41	9	9	△0	51.0
フルマリリン	23	44	11	14	△3	47.1
輸出/海外子会社	150 (△2.3)	313 (△8.0)	67 (△19.6)	84 (13.3)	△17	44.7
シオノギ Inc.	79	177	28	54	△26	36.0
OspheNa	25	70	8	-	8	30.4
C & O	34	75	18	13	5	52.0
製造受託	48 (△4.2)	114 (36.1)	28 (17.2)	24 (1.4)	4	58.0
一般用医薬品	24 (3.4)	46 (1.9)	11 (11.3)	10 (△25.2)	1	46.2
ロイヤリティ収入	260 (△22.2)	520 (△26.4)	127 (△9.8)	140 (△12.5)	△13	48.7
クレストール	242	475	118	131	△13	48.6
その他※	13 (△24.3)	27 (△29.2)	7 (△29.9)	10 (2.1)	△3	56.9
合計	1,300 (△6.3)	2,690 (△7.2)	627 (△6.7)	673 (△0.8)	△46	48.3

( )内 対前年UP%

製商品別売上高は単体実績

※診断薬事業につきましては、26年度より「その他」に含めております。

## ②-1 四半期別業績推移(四半期別主要製商品売上高)

(単位:億円)

平成26年3月期	25年4-6月 実績	対前年 UP率	25年7-9月 実績	対前年 UP率	25年10-12月 実績	対前年 UP率	26年1-3月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	404	1.9	405	1.1	465	2.9	409	0.2
クレストール	100	16.7	106	5.4	106	7.9	99	2.5
イルベタン類	29	23.7	38	58.2	39	9.6	33	35.1
サインバルタ	26	19.4	26	6.8	31	28.3	31	17.1
戦略3品目合計	155	18.4	170	14.1	176	11.4	162	10.5
オキシコンチン類	27	5.9	27	5.4	31	6.4	21	△ 0.5
フィニバックス	11	△ 7.1	12	△ 3.4	13	△ 12.2	11	△ 2.1
ディフェリン	9	7.2	10	△ 9.4	12	11.1	13	30.1
ピレスパ	12	15.1	12	△ 10.8	14	26.8	10	△ 1.1
ラピアクタ	1	36.0	0	△ 83.4	4	8.1	15	△ 1.9
戦略8品目合計	216	14.4	228	9.4	251	9.8	234	8.1
フロモックス	39	△ 11.9	36	△ 11.0	46	△ 14.0	37	△ 10.8
リンデロン等外用	24	△ 0.4	23	△ 2.3	22	△ 1.6	19	2.0
クラリチン	9	△ 26.0	9	△ 9.4	12	△ 10.6	19	△ 31.6
フルマリン	14	△ 7.9	14	△ 17.4	15	△ 1.5	11	△ 12.2
輸出/海外子会社	84	13.3	70	△ 5.8	120	82.4	66	△ 27.5
シオノギ Inc.	54	53.0	41	4.9	83	96.0	36	△ 32.9
Osphena	-	-	1	-	4	-	6	-
C & O	13	△ 14.2	16	13.5	13	2.7	17	2.8
製造受託	24	1.4	26	24.6	8	△ 41.8	26	76.8
一般用医薬品	10	△ 25.2	13	△ 9.6	11	△ 8.3	11	△ 6.2
診断薬	4	△ 22.6	4	△ 34.7	5	△ 6.8	7	25.3
ロイヤリティ収入	140	△ 12.5	194	11.6	181	△ 3.6	192	8.5
クレストール	131	△ 10.9	181	13.1	167	6.0	178	7.7
その他	6	33.2	3	△ 46.2	5	△ 13.8	4	△ 13.9
合計	673	△ 0.8	714	2.8	794	7.1	716	0.2

平成27年3月期	26年4-6月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	387	△ 4.3
クレストール	108	8.2
イルベタン類	37	30.4
サインバルタ	25	△ 2.5
戦略3品目合計	171	10.5
オキシコンチン類	27	△ 1.7
フィニバックス	9	△ 22.0
ディフェリン	9	△ 5.8
ピレスパ	13	2.9
ラピアクタ	1	△ 30.7
戦略8品目合計	229	6.0
フロモックス	31	△ 19.6
リンデロン等外用	21	△ 13.2
クラリチン	9	△ 7.8
フルマリン	11	△ 21.0
輸出/海外子会社	67	△ 19.6
シオノギ Inc.	28	△ 47.0
Osphena	8	-
C & O	18	37.6
製造受託	28	17.2
一般用医薬品	11	11.3
ロイヤリティ収入	127	△ 9.8
クレストール	118	△ 10.1
その他※	7	△ 29.9
合計	627	△ 6.7

製商品別売上高は単体実績

※診断薬事業につきましては、平成27年3月期より「その他」に含めております。

## ②-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

平成26年3月期	25年4-6月 実績	対前年 UP率	25年7-9月 実績	対前年 UP率	25年10-12月 実績	対前年 UP率	26年1-3月 実績	対前年 UP率
売上高	673	△ 0.8	714	2.8	794	7.1	716	0.2
売上原価	27.3 184	△ 10.8	26.4 189	△ 3.8	25.4 202	3.0	28.7 206	9.6
売上総利益	489	3.5	526	5.4	592	8.6	511	△ 3.1
販売費・一般管理費	54.7 368	-	51.4 367	-	48.3 384	-	53.0 380	-
販売費・管理費	236	2.2	238	5.4	248	9.9	240	2.4
研究開発費	132	-	129	-	136	-	139	-
営業利益	18.0 121	-	22.2 158	-	26.3 208	-	18.3 131	-
営業外収支	5		△ 11		18		△ 8	
経常利益	18.7 126	-	20.6 147	-	28.5 227	-	17.1 122	-
特別損益	6		38		-		△ 33	
税金等調整前四半期純利益	131		185		227		89	
税金費用他	23		82		76		44	
四半期純利益	16.1 108	-	14.4 103	-	19.0 151	-	6.2 45	-

平成27年3月期	26年4-6月 実績	対前年 UP率
売上高	627	△ 6.7
売上原価	31.6 198	8.1
売上総利益	429	△ 12.3
販売費・一般管理費	55.6 349	△ 5.3
販売費・管理費	231	△ 2.2
研究開発費	117	△ 10.7
営業利益	12.8 80	△ 33.6
営業外収支	56	
経常利益	21.7 136	8.4
特別損益	-	
税金等調整前四半期純利益	136	
税金費用他	33	
四半期純利益	16.5 103	△ 4.6

平成27年3月期第1四半期より、研究開発費に関する会計方針の変更を行っております。  
このため、平成26年3月期の販売費・一般管理費、研究開発費、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、税金費用他、四半期純利益については、遡及修正後の数値を記載しております。  
なお、対前年UP率については、算定していないため記載しておりません。

### ③ 開発品（2014年8月現在）

領域	開発No. (一般名) 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266	セフェム系抗生物質 (注射)	各種細菌感染症	グローバル: フェーズ II	自社	自社
疼痛・神経	LY248686 (デュロキセチン塩酸塩) 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	慢性腰痛症	日本: フェーズ III	Eli Lilly社(米国)	自社/日本イーライリリー社
	S-297995 (Naldemedine)	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト (経口)	オピオイド投与に伴う 消化器症状	グローバル: フェーズ III 日本: フェーズ III	自社	自社
	S-877503 (グアンファシン塩酸塩)	非中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本: フェーズ II/III	Shire社(アイルランド)	自社/Shire社
	S-877489 (Lisdexamfetamine)	中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本: フェーズ II	Shire社(アイルランド)	自社/Shire社
	S-117957	神経障害性疼痛治療薬 (経口)	神経障害性疼痛	米国: POM	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-120083	炎症性疼痛治療薬 (経口)	炎症性疼痛	日本: フェーズ I	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-010887	神経障害性疼痛治療薬 (経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズ I	自社	自社
代謝疾患	S-556971	コレステロール吸収阻害薬 (経口)	脂質異常症	日本: フェーズ II	寿製薬(日本)	自社/寿製薬
	S-707106	インスリン抵抗性改善薬 (経口)	2型糖尿病	米国: フェーズ II a	自社	自社
	S-237648	ニューロペプチド Y Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本: フェーズ I	自社	自社
フロンティア	Ospemifene	選択的エストロゲン受容体モジュレーター (経口)	閉経後陰萎縮症	米国: 承認(2013年2月) 欧州: 申請中(2013年3月)	QuatRx社(米国)	自社/QuatRx社
	S-524101	ダニ抗原特異的舌下免疫療法薬	ダニ抗原による アレルギー性鼻炎	日本: 申請中(2014年4月)	Stallergenes社 (フランス)	自社
	S-555739	プロスタグランジンD2受容体アンタゴニスト (経口)	アレルギー性鼻炎	日本: フェーズ III 米国: フェーズ II a 欧州: POM	自社	自社
	S-888711 (Lusutrombopag)	低分子TPOミメティック (経口)	血小板減少症	欧米: フェーズ II 日本: フェーズ III	自社	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧: フェーズ II	オンコセラピー・サイエンス社(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州: フェーズ I/II	オンコセラピー・サイエンス社(日本)	自社
	S-646240	ペプチドワクチン (注射)	加齢黄斑変性症	日本: フェーズ II a	オンコセラピー・サイエンス社(日本)	自社
	S-222611	HER2/EGFRデュアル阻害薬 (経口)	悪性腫瘍	欧州: フェーズ I/II	自社	自社
	S-525606	スギ抗原特異的舌下免疫療法薬	スギ抗原による アレルギー性鼻炎	日本: フェーズ I	Stallergenes社 (フランス)	自社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1349572 (ドルテグラビルナトリウム)	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	グローバル:申請中(2012年12月) 米国:承認(2013年8月) 欧州:承認(2014年1月) 日本:承認(2014年3月) その他11カ国で承認	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
ドルテグラビルナトリウム/アパカビル硫酸塩/ラミブジン	インテグラーゼ阻害薬/核酸系逆転写酵素阻害薬 (経口)	HIV感染症	欧米:申請中 (2013年10月)	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
S/GSK1265744 LAP*	インテグラーゼ阻害薬 (注射)	HIV感染症	米国:フェーズII	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズIII	自社	キッセイ薬品(日本)
Janssen/シオノギ β-セクレターゼ阻害薬	β-セクレターゼ阻害薬 (経口)	アルツハイマー病	欧州:フェーズI	自社	Janssen Pharmaceuticals社 (米国)

\*: Long acting parenteral formulation

<「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
オキシコドン塩酸塩水和物 【オキシコンチン®】	アヘンアルカロイド系麻薬 (経口)	中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛	日本:フェーズIII	Napp社(英国)	自社
デュロキセチン塩酸塩 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	線維筋痛症	日本:申請中 (2014年6月)	Eli Lilly社(米国)	自社/日本イーライリリー社
バンコマイシン塩酸塩 【塩酸バンコマイシン】	グリコペプチド系抗菌薬 (点滴静注)	1. <適応菌種>バンコマイシンに感性的メチシリン耐性コアグラゼ陰性ブドウ球菌(MRCNS) <適応症>敗血症, 感染性心内膜炎, 外傷・熱傷および手術創等の二次感染, 骨髄炎, 関節炎, 腹膜炎, 化膿性髄膜炎 2. MRSAまたはMRCNS感染が疑われる発熱性好中球減少症	日本:承認 (2014年5月)	Eli Lilly社(米国)	自社

<学会等の要望として開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) 【イムノマックス®-γ注】	インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) (注射)	菌状肉腫, セザリ-症候群	日本:承認 (2014年5月)	Biogen社(米国)	自社

2014年5月からの変更点

ステージの変更	S-649266:米国:フェーズII、日本:フェーズI → グローバル:フェーズII
	S-525606:日本:フェーズI準備中 → 日本:フェーズI
	デュロキセチン塩酸塩【サインバルタ®】線維筋痛症:日本:申請準備中 → 日本:申請中(2014年6月)
	バンコマイシン塩酸塩【塩酸バンコマイシン】:日本:公知申請(2013年11月) → 日本:承認(2014年5月)
	インターフェロン ガンマ-1a(遺伝子組換え)【イムノマックス®-γ注】日本:申請中(2013年8月) → 日本:承認(2014年5月)